

第7期の中間期にあたる本地方委員会では、プロジェクターを使って視覚的に前半1年間の活動経過と後半の方針を一括で提案すると共に、通常の質疑を拡大したかたちで全員対話形式の意見交換を行い、全体討議による課題の確認に力点を置きました。さらに任期途中の役員交替に関する新役員の確認を行ない、各議案共に満場の拍手を持って確認し、終了しました。

第1号議案 2003年度 活動計画



説明する 清村事務局長



「語ろう連合群馬の明日(みらい)とのサブタイトルにもありますように、本地方委員会の構成員全員の真摯な討議によって、第7期後半の活動を実のあるものになりたいと考えます。」とのしゃべり出しのもと、清村事務局長より、2002年度活動経過と合わせて2003年度活動計画の提案説明を行いました。

本活動計画は、第7期前半1年間をしっかりと総括した上で2年間の活動方針をきちんと仕上げ、第8期のスタートに備えるために「それぞれが何をなすべきか？」がポイントになります。従って、主要重点6課題に絞り込んだ議論を通して、すべての構成組織が共有し得るよう、その理解を求めました。

【主要重点 6 課題】

- ぐんまふれあいフェスティバル～連合群馬のスケールメリットをより発揮し、さらなる充実をはかる。
- メーデー～地区メーデーを含め、労働者が現下の問題を互いに認識し合い、地域社会との共有化をはかり、社会的な運動の一翼を担う取り組みを検討する。
- 政策・制度要求と提言～その実現に向けて、今までの取り組みをあらためて総括し、総合的な力量アップに向けて取り組む。
- 労使合同研究委員会～群馬における近代的な労使関係の構築に向け、労働政策を持って積極的に取り組む。
- 組織運営・強化～各級機関会議の役割と機能をより明確化し、その活性化を進めると共に、産別・地協・県連合の力合わせに向けた共通課題の明確化をはかる。
- 広報活動～総合的な広報戦略の構築に向けて、マスコミの有効活用、機関紙・メルマガ・HPのさらなる充実を進める。

その後、議長の取り計いで質疑の時間を拡大し、中川副事務局長を進行役に構成委員全員参加による対話形式の意見交換を実施しました。



「アクシデントもあつたけど裏方もがんばりました。」

←パソコンを駆使する新井書記



議長団

情報労連
櫻井 正樹さん(右)

化学総連
青木 隆さん(左)



【意見交換概要】

＊ぐんまふれあいフェスティバルは、単なるお祭りではなく、地域・県下に連合群馬としてのメッセージを発信するような工夫が必要。
＊政策・制度は出しっぱなしではダメ!どう実現させるかが重要。日常的な議員との連携や地域との連携が不可欠。

＊労使合同研究委員会の取り組みは、まさしく群馬県における労使関係構築の環境作り。労働政策を確立し、積極参加すべきである。その事が、中小・地場企業で働く仲間の支援につながる。

＊連合群馬が県行政との関係構築を主体に考えるなら、中央政府に対しては、連合中央の取り組みが重要となる。昨今の政府段階における諸問題をとらえても、その点もう少しレスポンスを良くすべきではないか?適切な機会をとらえ、連合本部に要請すべきである。

＊組織運営・強化においては、会長の挨拶にもあった「産別・地協・県連合の三角形による連形態性構築」が不可欠である。それぞれの構成組織が、自覚と責任を持って取り組むべきであり、連合群馬のリーダーシップが重要となる。

＊男女共同参画に関しては、連合群馬としての推進計画をいかに浸透させるかが重要である。男だ!女だ!ではなく、すべての構成役員がその自覚を持って議論することが大切であり、ましてや数ありきで考えるべきではない。

と言った意見が出され、その後、議長の進行に戻して全会一致で承認いただきました。

～ご意見をいただいた方々～



UIゼンセン
柴田さん

自動車総連
剣持さん

UIゼンセン
松島さん

自動車総連
藤川さん

桐生地協
藤掛議長

国教組
金井さん

沼田地協
伊藤議長

造船重機労連
藤井さん

女性委員会
新井さん

第2号議案 2003年度 予算

「第7期後半1年間の活動をきちんと仕上げるための予算計上であり、選択と集中で効果的な予算運用に努めます。」との提案説明を清村事務局長から行い、全会一致で承認いただきました。